

気候情報

2011年8月の日本の天候

- 気温は北日本で高いほかは、全国的に平年並だった。北・東日本では気温の変動が大きかった
- 東・西日本の所々で大雨が降り、西日本日本海側では降水量が多かった

8月の天気概況

太平洋高気圧の勢力の変動が大きく、各地域とも暑い時期と涼しい時期があった。北・東日本では、上旬中頃から中旬中頃にかけては太平洋高気圧におおわれたため晴れて気温が高く、多くの地点で猛暑日となった一方、上旬はじめはオホーツク海高気圧の影響で低温になったほか、中旬終わりから下旬にかけては寒気や本州付近に停滞した前線の影響で高温の日はほとんどなく、気温の変動が大きかった。月平均気温は北日本で高いほかは、全国的に平年並だった。

前線や湿った気流の影響により、西日本日本海側では、月の後半に大雨の降った所があったため月降水量が多かったほか、竜巻などの突風が発生した所もあった。西日本太平洋側と東日本でも、下旬は前線や湿った気流の影響で大気の状態が不安定になることが多く、各地で大雨が降った。また、沖縄・奄美の一部では、上旬中頃に台風第9号が沖縄本島のすぐ西をゆっくり北西進したため大雨となった。

上旬：沖縄・奄美では期間はじめと終わりは晴れたが、期間中頃は台風第9号が沖縄本島のすぐ西をゆっくり北西進していったため大雨となった。西日本では、太平洋高気圧におおわれて晴れたほか、高気圧縁辺の湿った気流や台風第9号の影響で曇りや雨になった日があった。北・東日本太平洋側では、期間はじめはオホーツク海高気圧から流れ込む冷たく湿った気流の影響でおおむね曇りで気温が低かった。期間中頃は台風第9号の影響で南からの暖かく湿った気流が断続的に流れ込んだため、まとまった雨の降った所があった。期間終わりは太平洋高気圧におおわれておおむね晴れた。北・東日本日本海側は気温が高く晴れの日が多かった。

中旬：北日本から西日本にかけて、日本海側は前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。一方、太平洋側では、期間中頃までは太平洋高気圧におおわれて気温が高く晴れの日が続き、数日間連続して猛暑日となる所もあったが、期間終わりには寒気をもった深い気圧の谷の通過に伴って前線が南下したため、東日

本を中心に低温になった。沖縄・奄美では、期間はじめは湿った気流の影響で曇りになったが、期間中頃以降は太平洋高気圧におおわれて晴れの日が続いた。

下旬：北日本から西日本にかけて、期間中頃までは前線や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多かった。大気の状態が不安定になることが多く、各地で大雨が降り、竜巻などの突風が発生した所もあった。期間終わりは高気圧におおわれておおむね晴れたが、台風第12号の影響で大雨になった所もあった。沖縄・奄美では、期間前半は太平洋高気圧におおわれて晴れの日が多かったが、期間後半は台風第11号や湿った気流の影響で雨の降る所もあった。

8月の気候統計

月平均気温：北日本で高く、東・西日本、沖縄・奄美では平年並だった。

月降水量：西日本日本海側で多く、北日本日本海側、東日本、西日本太平洋側、沖縄・奄美では平年並であった。北日本太平洋側では少なかった。

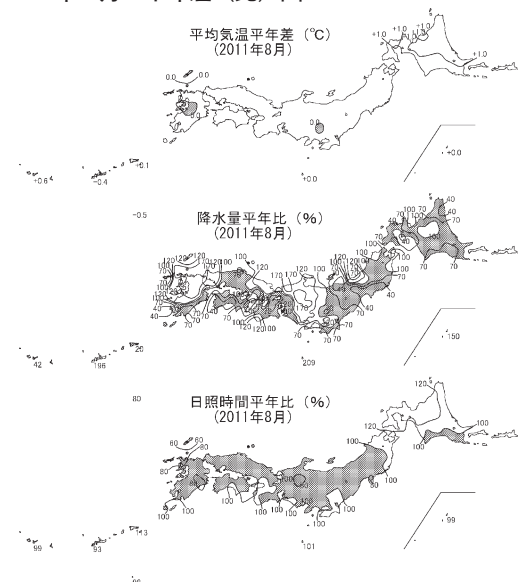
月間日照時間：北日本日本海側で多く、北日本太平洋側、東日本、西日本太平洋側、沖縄・奄美では平年並であった。西日本日本海側では少なかった。

(気象庁観測部統計室)

8月の記録(1位更新のみ)

なし(本欄の対象は月平均気温、月降水量、月間日照時間です)

2011年8月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。